

大成支署に高規格仕様救急自動車  
町民の救命率向上に期待！

Koho - kenbunroku



10月9日(木)、せたな消防署大成支署において救急自動車受納式が行われました。この救急自動車は、JA共済連北海道本部から寄贈されたもので、同本部では以前から交通事故対策事業の一環で、全道各地の消防署へ救急自動車の寄贈活動を続けています。

式典では、同本部函館駐在次長森田耕爾氏ら関係者およそ20名が主席、寄贈者を代表し新函館農協代表理事組合長からせたな町長へ目録が贈呈され、続いて北檜山農協代表理事組合長から檜山広域行政組消防長へマスコットキーが贈呈されました。



今回寄贈された救急自動車は、四輪駆動式の最新型車両で、自動式心肺蘇生器や患者監視装置など、高度救命に必要な最新の資機材を装備しています。また、従来の救急車よりも全体的に大きく室内空間も広いため、より円滑な高度救命活動ができるようになり、町民みなさんの生命安全を守るため大きな役割を果たすものと期待されます。

編集後記

▼今回の表紙は、大成保育園児による交通安全街頭啓発の時の写真です。せたな町では「秋の交通安全週間」「交通事故死ゼロを目指す日」に伴い、瀬棚保育所や若松小学校・宮野町内会、このほかにもたくさんの方々の皆さんによりシートベルトの着用など、安全運転の呼びかけが行われました。せたな町交通事故死ゼロの記録は10月16日現在で65日、記録をのばすことが重要なのではなく、尊い命を大切にすることが記録に繋がると信じています。このたび保育園児からももらった、まっほっくりに短冊をつけたマスコットには「フー・トださないでね」と書いてありました。さっそく車に飾り、安全運転を心がけようと思います。▼町民センターやふれあいプラザでのステージ写真を撮影する時は、いつも苦労します。今回の松前神楽の公演会でも、踊りの最中は場内が暗く、出演者の方々が動いていたため、イメージ通りには撮影できませんでした。その場の感動が伝わるような写真を心がけていきたいと思っただけです。(乾・稲谷)

